

編集担当委員が語る JSiSE 論文投稿入門 —教育実践をいかに論文化するのか?— (チュートリアル)

オーガナイザ： JSiSE 学会誌編集委員会

JSiSE の対象とする領域は、情報・教育・認知といった異なる学問の融合した分野であり、かつ、近年の e ラーニングや ICT 活用教育の普及に伴い、従来とはまったく異なる対象分野や、教育機関のみならず各種職業分野における応用実践が急速に広がっています。

特に、教育実践を対象とする研究は JSiSE で扱う領域の大きな特徴のひとつであり、学会誌編集委員会でも実践論文のあり方に関する議論を積み重ねてきました。今回は、昨年度に引き続き「教育実践をいかに論文化するのか?」をサブタイトルに掲げ、実践研究の体系的な方法論やその事例を考察していきます。また、論文の採録基準や査読の進め方についても解説を行います。現在、学会誌編集委員会内で検討を重ねている新たな論文カテゴリーの新設についても、検討状況をご紹介します。

チュートリアルでは、以下のような項目について、論文査読を担当している学会誌編集委員が解説を行います。

- 論文投稿から掲載までの流れ、投稿に際しての注意
- 論文種別と採録基準 —現状と改訂の方向性—
- 査読の観点と査読コメントに対する対応のノウハウ
- 実践研究の体系的な方法論やその事例

特に最後の「実践研究の体系的な方法論やその事例」については、学会誌編集委員の中でも、教育工学だけでなく心理学や経営学などにも造詣が深く、企業での研究・実用化の経験もお持ちの吉川厚先生に、他分野の学際領域や産学連携領域での研究方法論の知見が、教育実践論文にどのように活かせるかをお話いただきます。

これまで論文投稿をしたことが無い方、研究をまとめたのだが論文として求められるレベルがよくわからないという方、実践研究を進めるうえでのポイントやヒントを得たい方のほか、査読を行う際の考え方を整理したい方にも有用な内容と考えております。ぜひ奮ってご参加ください。

登壇者（予定）

仲林清（千葉工業大学）、小西達裕（静岡大学）、瀬田和久（大阪府立大）、吉川厚（東工大）